

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第35回全国削ろう会
事業主体 (連絡先)	第35回全国削ろう会信州伊那大会実行委員会 (伊那市役所耕地林務課)
事業区分	(3) 教育、文化の振興 (6) 産業振興、雇用拡大 (ウ森林づくりと林業の振興)
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,734,504 円 (うち支援金: 1,523,000 円)

事業内容

開催日: 2019年5月11日(土)~12日(日)
会場: 伊那市民体育館、伊那市防災コミュニティセンター

入場料: 無料 (競技参加者からは参加費を徴収)

実施概要:

- 1 メインプログラム…鉋薄削り競技の開催。
- 2 実演、展示、体験プログラム
建前、組子コースター、木工教室 など
- 3 講演会…鵜工舎 舎主 宮大工棟梁 小川三夫氏
- 4 映画上映…「ブラックスミス」(鍛冶屋の映画)
- 5 長野県産材、特産品の紹介、販売
- 6 伊那市街の飲食店紹介



【 競技会場の様子 】

【目標・ねらい】

- ① 森林資源の保護と活用の啓蒙
- ② 木工文化と技術の継承
- ③
- ④

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① イベントに延べ1万人の参加があり、様々な体験、展示を通して森林資源の保護と活用の意識向上につながった。
- ② 地元小・中・高校生のスタッフ参加が延べ310人あり、全国の一線で活躍する職人とともにイベントを作り上げることで木工文化と技術の継承につながった。

※自己評価 【A】

【理由】

イベント参加者が目標よりも約60%増加(当初計画6,000人に対し10,000人)。学校との連携により、市民が興味をもてるイベントとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

保育園での木育に鉋削りの実演を行ったり、アカマツを経木(おにぎりなどを包むもの)として活用するなど、伊那市における教育、産業に職人の技を活用していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある